

北いぶき



鶴飼辰徳さん（妹背牛地区・妹背牛北）圃場での田植え

Contents

●令和4年度 新規就農者激励会	2	●理事会報告	13・14
●退任役員感謝の集い	3	●令和4年度 共済一斉推進	14
●JA北いぶき総代が選出されました	4~6	●職員動態	14
●第2回 農事組合長会議	6	●北いぶき産ゆめびりかを購入された 神奈川県在住の消費者から、応援メッセージが届きました	14
●第3回 現地研修会	6	●女性部妹背牛支部 フレッシュミズ 夏期レクリエーション	15
●絆 ~THE YOUTH FACE~	7	●女性部秩父別支部 フレッシュミズ さつまいも作り見学	15
●JA北いぶき青年部 「青年部の日」を開催	8	●女性部秩父別支部 野菜の青空教室	15
●JA北いぶき女性部 3支所部員研修	8	●女性部沼田支部 部員研修旅行	15
●コープさっぽろ 「お米探検隊」田植え体験ツアー	9	●JA若手職員田植え研修	16
●沼田小学校 田植え体験学習	9	●第63回 空知管内JA野球大会	16
●沼田小学校 メロン体験学習 定植体験	10	●アンサンブルグループ奏楽 音楽演奏会	17
●メロン生産組合 現地栽培講習会	10	●日本農業新聞电子版 ご利用・お申し込みご案内	18・19
●野菜類生産組合 シシトウ部会 目揃い会・現地栽培講習会	11	●PHOTOだより	20
●ブロッコリー生産組合 目揃い会・圃場巡回・集荷開始	11		
●HBC【あぐり王国北海道NEXT】で 有限会社 妹背牛牧場が取材されました	12		
●沼田町自然体験プロジェクト 馬と一緒に米作り体験	12		





令和四年度
新規就農者激励会

新規就農者の皆さん（前列）、
左から、畑地さん、斉藤さん、前田さん、岡部さん、桃野さん、金森さん、藤岡さん

六月三十日、妹背牛支所三階大ホールにて、令和四年度新規就農者激励会を開催しました。

本年は、秩父別地区より藤岡寛さん（稲豊）、金森健汰さん（穂栄）、桃野翔太さん（穂栄）、安井伸介さん（北新）、妹背牛地区より岡部さん夫妻（妹背牛南）、前田俊哉さん（妹背牛北）、沼田地区より篠永昂輝さん（沼田東部東）、斉藤健太さん（沼田東部西）、畑地建さん（沼田東部東）の十名が新たに就農されました。

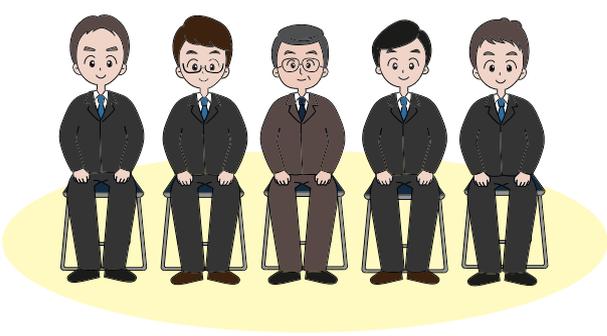
激励会では、出席された皆さんにJA黒田組合長より激励の言葉が贈られました。また、新規就農者からは、代表して岡部月彦さんが挨拶・抱負を述べました。



新規就農者より代表挨拶をした岡部さん



JA黒田組合長より激励状を受け取る藤岡さん





退任役員感謝の集い

退任された役員の皆さん、右から篠田雅氏、小山裕一氏、戸田毅氏、畑地誉氏、高田道夫氏



六月二十八日、本所三階大ホールにて、退任役員感謝の集いを開催しました。

四月の第十九回通常総代会をもって役員を退任された篠田雅氏、小山裕一氏、戸田毅氏、畑地誉氏、高田道夫氏、第十八回通常総代会をもって役員を退任された中谷雄二氏の永年のご苦勞を労いました。

JA役職員多数出席のもと黒田組合長より感謝状並びに記念品が贈呈され、満場の拍手によりこれまでのご功績を称えられました。退任役員を代表して篠田雅氏より挨拶を頂きました。

篠田前組合長をはじめ、退任された役員の皆様からは多大なるご厚志を頂戴しております。



退任された役員を代表し、挨拶する篠田前組合長



JA黒田組合長より、感謝状を受け取る戸田前代表監事

JA北いぶき総代が選出されました

令和元年度改選による総代の任期が本年五月二十九日で満了となり、秩父別・妹背牛・沼田の各地区から立候補で届け出をされた方が、地区定員八三名となり、計二四九名(再任一〇三名、新任一四六名)の方が総代に選出されました。

任期は令和四年五月三十日から令和七年五月二十九日までの三年間となります。

なお、選出された各地区総代の方々は次の通りです。《敬称略》

●秩父別地区

農事組合	組合員名	新・再任
日出	横山 修一	再
日出	佐藤 直行	再
日出	土井 陽平	再
日出	和泉 康宏	再
日出	片岡 洋一	再
日出	小山 裕一	新
日出	得能 直浩	再
日出	中村 純一	再
日出	中西 貴彦	再
日出	越智 利政	再
日出	遠藤 大亮	新
日出	宮本 義治	再
日出	山森 聡	再

日	山森 正巳	再
穂	井上 勇	新
穂	吉沢 淳	新
穂	小西 博恭	新
穂	上杉 義一	新
穂	山崎 拓士	新
穂	松本 直幸	再
穂	齊藤 吉仁	新
穂	齊藤 隆彦	新
穂	畑田 哲也	新
穂	畑田 毅	新
穂	田中 毅	新
穂	那須 正利	新
穂	上ヶ島 良之	新
穂	石黒 忠則	再
穂	北守 智彦	再
穂	小坂 和正	再
穂	平瀬 雅俊	新
穂	内山 淳	再
穂	稲沢 実	再
穂	楠本 学	再
穂	多田 由紀博	再
穂	畑田 龍二	新
穂	河瀬 晋	再
穂	福島 聡宏	再
穂	岡崎 文司	再
穂	我部 山豊春	再
穂	谷田 剛	新
穂	高橋 秀幸	再
穂	山田 賢吾	再

北	宮西 貴志	再
北	川上 徳嗣	再
北	高崎 省悟	再
北	永守 真司	再
北	前川 忠英	再
北	篠田 隆紀	再
北	前田 力男	再
北	株式会社	再
北	田丸フーム	再
北	代表取締役	再
北	田丸 雅統	再
北	植田 辰徳	再
北	鳥潟 洋美	再
北	久保 吉雄	再
北	山本 一成	再
北	安井 伸介	再
北	辻 元樹	再
北	植田 里志	再
北	宮森 康彰	再
北	大浦 英之	再
北	株式会社	再
北	山戸 代表取締役	再
北	戸村 哲也	再
北	安藤 敏之	再
北	山森 誠	再
北	北垣 仁	再
北	柴田 裕紀	再
北	藤岡 正文	再
北	中西 俊彰	再
北	山田 尚史	再
北	得能 政一	再
北	石井 裕士	再
北	坂下 勉	再

●妹背牛地区

農事組合	組合員名	新・再任
妹背牛南	長田 欣司	新
妹背牛南	長谷 浩幸	新
妹背牛南	寺岡 利雄	新
妹背牛南	古川 隆夫	新
妹背牛南	小畑 淳一	再
妹背牛南	宮崎 英勝	再
妹背牛南	北畑 和男	再
妹背牛南	中西 徹	再
妹背牛南	森口 一也	再
妹背牛南	橋向 利勝	再
妹背牛南	山下 晴治	再
妹背牛南	杉原 靖浩	再
妹背牛南	渡辺 智之	再
妹背牛南	岡田 康夫	再
妹背牛南	武田 憲章	再

稲	古川 多喜男	再
稲	佐崎 雅俊	再
稲	前田 英樹	再
稲	中西 伴浩	再
稲	佐崎 正敬	再
稲	川合 雅記	再
稲	山本 康雄	再
稲	田中 宏樹	再
稲	佐藤 誠	再
稲	藤岡 勉	再
稲	小鷹 輝	再
稲	鬼頭 輝	再
稲	合同会社	再
稲	やおき	再
稲	代表社員	再
稲	吉田 光博	再

絆

～ THE YOUTH FACE ～



堀田 雄磨さん

妹背牛地区 妹背牛中央農事組合

作付品目
水稻、麦

経営主
堀田 雄一さん

就農するきっかけ

小さい頃から両親が農作業している様子や手伝うなかで、「農業って大変なんだな」と感じており、そんな両親の負担を軽くしてあげたいと思い農家を継ごうと思いました。

この先の営農に向けて

近年は、働き手不足や物価の高騰など、農業経営に影響が出るような出来事が起こっていますが、そのような逆境にも負けず、最新技術の活用や先輩農家のアドバイス等から、代々引き継いできた農業を守っていきたくです。

高校卒業後、すぐに就農しようとしていたのですが、両親から「社会勉強は必要」という言葉を受け、社会経験のために、一度は一般企業に就職。勤めてから二年程経った時に父が入院したことをきっかけに勤

めていた企業を退職し、就農することに決めました。



田植え中の堀田さん

青年部は素晴らしい環境

いたいです。

青年部に入部し、農業についての意見や農作業について話し合う機会を得たことが大きなメリットだと感じました。歳が近い先輩農家が集まっているため、普段は聞きにくい話が出来たり、悩みごと等の相談が

しやすい素晴らしい環境だと思います。

これからは先輩方の活動の様子を参考にし、青年部を通して妹背牛町を盛り上げていきたいです。

仕事外の楽しみ

仕事が終わった後に美味しいものを食べたり、映画を見たりして疲れを癒すのが最近の楽しみです。余裕が出来たら遠くの旅館などに泊まったりしてのんびりしてみたいです。



青年部妹背牛支部で参加した令和元年のもせうし豊年盆踊り大会（堀田さん先頭）

J A北いぶき青年部 「青年部の日」を開催



支部混合のチームで作戦会議

六月十四日、J A北いぶき青年部（楠本学部長）は、秩父別町ファミリースポーツセンター野球場にて支部同士の交流を目的とした「青年部の日」を開催。秩父別支部十二名、妹背牛支部十六名、沼田支部十四名の計四十二名の盟友が参加しました。



六月二十四日に開催予定であったJ A空知青年部連合会北ブロック第四十六回球技大会（悪天候の為開催中止）にてキックベースが行われることから、練習を兼ねたキックベース大会を行い、支部混合のチームで盟友同士の交流を深めました。

J A北いぶき女性部 三支所部員研修



令和4年度役員の紹介

六月三十日、J A北いぶき女性部（戸村千代美部長）は、本所三階大ホールにて、三支所合同の部員研修を開催し、秩父別支部十九名、妹背牛支部二十八名、沼田支部二十名の計六十七名が参加しました。

部員研修では、困難とされていた無農薬でリングを作った農家の方の物語を映像で鑑賞しました。その後は、戸村部長司会でビンゴゲームを行い、参加者全員に豪華景品が当たりました。また、今後の部員研修の為、アンケートを実施し、来年度以降の活動に向けて意見を募集しました。



ビンゴ大会で見事一番に景品をゲットした山本清美さん(秩父別地区・稲豊) (写真左)



コープさっぽろ「お米探検隊」 田植え体験ツアー

五月二十一日、妹背牛支所のふれあい農園にて、コープさっぽろ「お米探検隊」田植え体験ツアーが開催され、消費者約二十名が参加しました。三年ぶりで規模を縮小した開催となった今回の田植えツアーでしたが、当日は晴天に恵まれた温暖な気候となり、半袖・半ズボン姿の参加者が目立ちました。

妹背牛町佐藤技師より手植えの手順や注意点などの説明を受け、植え始めると、子供たちは汚れた服も気にせずに熱中していました。妹背牛支部の青年部、女性部の協力もあり無事に田植えを終えると、昼食には、妹背牛町産米「なつぼし」を使用したお弁当を堪能しました。

午後からは、二班に分かれ、馬鈴薯の播種体験とカントリー施設内の見学が行われました。



楽しみながら苗を植える児童たち

沼田小学校 田植え体験学習

五月二十三日、沼田町内水稲生産者の圃場にて、沼田小学校の食育に係わる授業の一環として田植え体験学習を実施しました。

今年、五年生児童十四名が手植えによる田植え作業を行い、晴天のもと、のびのびと作業を行う事が出来ました。

J A職員から苗の植え方の説明を受け、児童は田んぼに足を入れると、代掻き後の柔らかい泥の感触に歓声を上げていました。児童



の中には、圃場の中に転んでしまった子や、器用に歩いて友達の手助けとして大活躍をしている子もいて、みんなで楽しみながら無事に終わることができました。

また、児童からは、「手植えをまたやりたい」「これをきっかけにお父さんのお手伝いをしたい」など、感想の声が上がっており、授業を通して児童たちに農業の楽しさや生産者に対する感謝の気持ちを学んでもらえた機会となりました。



丁寧に苗を植える児童たち



苗の植え方を児童へ説明する辻よし子さん（沼田地区・沼田東部西）

沼田小学校 メロン体験学習 定植体験

六月十六日、沼田小学校四年生児童十三名が辻則行さん（沼田地区・沼田東部西）の圃場を訪れ、メロンの定植体験を行いました。

この体験学習は沼田町で地域参画活動を行う「農天氣の会（藤村富士子代表）」が主催し、児童たちに農業の良さ・食べ物がつくられる過程を学んでもらうことを目的としており、沼田小学校児童がメロンの定植から収穫までを体験します。

児童たちはメロンの基礎知識と定植時の注意事項を覚えてもらおうと、ハウスに入り、一人二本ずつメロン苗を植えました。その後は、児童からの質疑の時間を設けると、果肉の色や品種、適した環境について等、メロン生産者の方々は丁寧に回答していました。

今年度の「メロン体験学習」は、八月下旬に皿敷き作業体験、九月中旬に収穫体験を予定しています。

メロン生産組合 現地栽培講習会



松永さんの圃場では生育時期をずらしたハウスを3棟見学しました

六月一日、北いぶきメロン生産組合（松永徹組合長）は、現地栽培講習会を開催しました。松永組合長の圃場にて、横浜植木株式会社 社研究農場の職員より、主にネットの発生期や肥大化時期に関するハウス内の温度・湿度管理との関係について、生育段階別に説明をして頂きました。その他、普及セ



新デザインの出荷ダンボールをお披露目

ンターからは、気象経過と気象予報をもとに今年度のメロンの生育に関する注意点が説明されました。

また、昨年度より生産組合で協議されてきた出荷用箱の新デザイン完成が発表され、JAから取りまとめに係る説明をさせて頂きました。



出荷に関する要領を確認しました

蔬菜類生産組合 シミトウ部会 目揃い会・現地栽培講習会

六月六日、蔬菜類生産組合シミトウ部会（山下晴治部会長）は、妹背牛支所野菜集荷場にて、令和四年産目揃い会・栽培講習会を開催しました。

目揃い会では、JAよりシミトウの出荷取扱要領・出荷規格について報告させて頂きました。生産者の皆さんで栽培時の注意点や出荷時のサイズ別の入本数・詰め方・量目を改めて確認。その他、個選集荷など、主に出荷に関する事項を確認しました。

現地栽培講習会では、普及センター担当職員より栽培管理について、ハウス内の温度管理や水管理、整枝時の注意点、追肥や農薬使用時の注意事項、生理障害・病害虫対策等、多岐に渡って説明頂きました。



ブロッコリー生産組合 目揃い会・圃場巡回・集荷開始



七月七日、ブロッコリー生産組合（谷水敏和組合長）は、秩父別農産集出荷施設にて令和四年産目揃い会・圃場巡回を開催しました。

目揃い会では、JAより集荷時の注意事項、出荷規格・品質基準・生産について報告させて頂きました。

また、栽培暦を基に月別に発生しやすい病害虫対策として防除体系の紹介。その他、耐暑性に優れた二品種を紹介しました。

圃場巡回では、宮森康彰さん（秩父別地区・北新）と遠藤大亮さん（秩父別地区・日の出）の圃場に伺い、生産者同士で栽培管理について意見交換しました。

今年度は、六月二十日より、ブロッコリーの集荷が始まりました。八月から九月にかけてピークを迎え、十月末まで出荷が続きます。



写真はHBC提供

毎週土曜日に放送されている「あぐり王国NEXT」(HBC)で妹背牛牧場(代表・佐々木亮太さん)が特集され、六月四日の午後五時より放送されました。五月二十日の取材撮影では、妹背牛町唯一の牧場として、妹背牛

HBC「あぐり王国北海道NEXT」で
有限会社 妹背牛牧場が
取材されました



また、妹背牛牧場で実施している牧場見学等、積極的な取り組みについて出演された佐々木さん夫妻が紹介しました。

牧場の酪農への取り組みについて、牛とのコミュニケーションや生育に合わせた「牛ファースト」の飼育管理を紹介。こうした取り組みから、妹背牛牧場の生乳は、一頭当たりの搾乳量や乳脂肪分が道内平均より高いことが紹介されました。



足元の悪い「代掻き」は非常に苦戦していました



「馬耕」で圃場を耕しました

沼田町自然体験プロジェクト
馬と一緒に米作り体験

六月四日・五日に沼田町での自然体験プロジェクトの一環として、畑地誉さん(沼田地区・沼田東部東)の水稲圃場にて、馬と人が一緒につくるお米づくりイベントが開催されました。八歳の雌馬「ななつぼし」も初体験のなか、前日にスタッフが馬に犁(すき)を引かせて、田んぼを耕す「馬耕」を行い、約一〇aの田んぼを二時間ほどかけて耕しました。

四日は、参加者・関係者を含め十五名が集まり、馬に手作りの馬鍬(まぐわ)を引かせて代掻きを行うと、柔らかい土に足を奪われ、馬も人間も苦労が目に見えました。その他、田んぼでの馬そり体験や馬と人間の綱引き対決で盛り上がりました。また、五日には田植え作業を行い、馬が耕した田んぼに「ななつぼし」の苗を手植えました。

理事会報告

第四回理事会（五月三十日付）

【報告事項】

内部監査室

○内部監査の品質評価について

管理本部

○当面における農協行事予定について

○組合員の加入・脱退等の申し出について

○総代の選出状況について

○令和三年度JA財務モニタリングについて

○固定資産の取得・処分・主要修繕費等の支出について

○疑わしい取引の届出状況について

○令和三年度コンプライアンスプログラムに基づく取り組み状況について

○コンプライアンス定期報告について

○令和三年度自己申告書主要意見に係る回答について

○マネロンガイドラインに基づくギャップ分析について

○コンプライアンス月次報告について

○職員の動向について

金融共済事業本部

○長期資金の貸し出し状況について

○特定組合員面談等における状況報告について

○地区別組合員階層区分資料について

○農業経営基盤強化資金の無利子化枠の選定について

○令和四年度農地担保評価基準額の設定について

○JAバンク経営戦略（令和四年度～令和六年度）の策定について

営農販売事業本部

○令和三年度北空知広域連花卉施設収支決算について

○令和四年度 新規就農該当者について

○うるち米を巡る情勢について

○令和四年産米の出荷契約進捗状況について

○令和四肥料年度北海道肥料価格について

○購買施設事業実績検討表（四月末）について

議案第二号

特定組合員に対する貸付けの承認について

議案第三号

令和四肥料年度（令和五年使用肥料）の早期予約推進および奨励要領（案）について

議案第四号

営農用灯油および大口奨励対策措置について

【協議事項】

○信用限度八〇%を超える組合員への貸付について

○JA北いぶき設立二十周年に向けた取り組みについて

○退任役員からのご厚志の対応について

第五回理事会（六月二十八日付）

【報告事項】

管理本部

○当面における農協行事予定について

○組合員の加入・脱退等の申し出について

○固定資産の取得・処分・主要修繕費の支出について

○令和三年度主要系統連合会決算概要について

○余裕金運用計画額について

○経営定期点検実施報告について

○職員教育訓練要領から職員人材育成要領への改正について

○企画会議開催要領の一部改正について

○コンプライアンス月次報告について

○JA北いぶき子会社等（まちづくりぬまた・北空知広域連・空知ガス）の決算資料について

○職員の動向について

金融共済事業本部

○長期資金の貸し出し状況について

○JAバンク苦情等対応要領の一部改正について

○長期共済一斉推進の実績について

営農販売事業本部

○うるち米を巡る情勢について

○令和四年産米生産面積及び出荷契約状況について

○令和四年産大豆・そばの契約状況について

○令和四年度「良品質米栽培助成事業」申込状況について

○購買施設事業実績検討表（五月末）について

【決議事項】

議案第一号

事務リスク管理規程の一部改正

【決議事項】

議案第一号

職員に対する定時給与（夏期手当）の支給について

について

議案第二号

人事規程および職制規程・規程類管理規程の一部改正について

議案第三号

令和四年度コンプライアンス・プログラムの一部改正について

議案第四号

もせうし町民まつり実行委員会に対する寄附採納について

議案第五号

固定資産の修繕について

議案第六号

指定管理資産の修繕について

議案第七号

信用限度超過者に対する貸付けの承認について

議案第八号

特定組合員に対する貸付けの承認について

【協議事項】

○ 退任役員からのご厚志について



**令和四年度
共済二斉推進**

五月三十一日から三週間に渡り、秩父別地区・妹背牛地区・沼田地区の組合員の皆様に共済契約内容の説明と「ひとと保障」「いえ(建物)保障」の内容充実についての提案をさせていただきました。

本年も新型コロナウイルス感染症の拡大防止を踏まえ、マスク着用等の対策を行いながらの訪問となりましたが、組合員の皆さまのお宅を訪問した際にはお時間を割いていただき、訪問推進にご協力くださいましたことを心からお礼申し上げます。

共済提案につきましては、「ひと」と「保障分野では、昨年より医療共済が日額保障から一時金保障へ仕組が改訂され、短期間入院の保障充実や六〇歳以上の万一保障を見据えた生命保障の見直し、三大疾病や生活習慣病になってしまった場合に備えた「特定重度疾病共済」、身体障害に備えた「生活障害共済」、本年度新設された「認知症共済」のご提案。「いえ(建物)」の保障では、近年、地震や強風被

害、雪害、豪雨による水災害等、自然災害が多発しており、災害に対する「建物更生共済」等、組合員の皆さまには「ひと・いえ・くるまの総合保障」を通じ、もしものときの生命・医療保障から損害保障まで、利用者視点に立ったさまざまな保障プランの説明をさせていただきます。

今後も組合員の皆さまにJ Aとのつながりをさらに深めていただくとともに、充実した保障の提供を目指し、「3Q推進活動」等に取組み、「ひと・いえ・くるま」の総合保障を通じて安心な保障の提供をより一層努力して参ります。

職員動態

□ 異動(七月一日付)

松井 珠藍

沼田支所貯金共済課貯金係
(妹背牛支所貯金共済課共済係)

小澤 未羽

共済事業部共済課共済係
(沼田支所貯金共済課共済係)

北いぶき産ゆめぴりかを購入された神奈川県在住の消費者から、応援メッセージが届きました

《三年前、中学校時代のクラス会で同窓生三名から口を揃えて「ゆめぴりかを食べてみて」と勧められ、昨年からヨークマート(スーパーマーケット)で販売されている北いぶき産のゆめぴりかを購入し、愛食しています。美味しいので、私の次男にも紹介しました。》

これからも美味しいお米を提供してくださいね。》



**女性部妹背牛支部
フレッシュユミズ
夏期レクリエーション**

六月七日、J A北いぶき女性部妹背牛支部フレッシュユミズ会（渡会真紀会長）は、妹背牛町保健センターにて、妹背牛町の有限会社大栄工業より職員の方を講師に招いて、強アルカリイオン電解水「merw（メルヴ）」を使ったお掃除術を学ぶ講習会を開催し、会員六名が参加しました。

「merw」の原材料は九九・九％水となっており、人体に有害な物質を含んでいない為、赤ちゃんのおもちゃを除菌することもできる強アルカリイオン電解水です。会員の皆さんは、自宅で有効に使う為、熱心に正しい使用方法について講習を受けました。



**女性部秩父別支部
フレッシュユミズ
さつまいも作り見学**

六月十日、女性部秩父別支部フレッシュユミズ（植田麻沙子会長）は、女性部秩父別支部の中西亜紀子さん（秩父別地区・稲豊）が栽培しているさつまいも圃場の見学にて、会員七名が参加しました。今年度の行事計画で、会員より「さつまいもを育ててみたい」と声が上がっており、以前からさつまいもを栽培している中西さんにご協力頂きました。

当日は、見学のほか、品種「なると金時」の苗を「さすけ」という植付け道具を使って定植作業も実施。作業終了後は中西さんにさつまいもの栽培について伺いました。定植から収穫まで勉強していく予定です。



**女性部秩父別支部
野菜の青空教室**

六月十三日、J A北いぶき女性部秩父別支部（戸村千代美支部長）は、女性部秩父別支部エルダーの北守公子会長の圃場にて「野菜の青空教室」を開催し、二十三名の部員が集まりました。

ミニトマトやナス、トウモロコシ等圃場の野菜を見学し、追肥のタイミングや防除について情報交換をしました。参加者からは「とても勉強になった」「教えてもらったことを家に帰ってすぐに実践する」と感想を頂きました。収穫時期に第二回目の「野菜の青空教室」を開催予定です。



**女性部沼田支部
部員研修旅行**

六月十五日、女性部沼田支部（加藤早苗支部長）は、小樽方面へ日帰りの部員研修旅行を実施し、部員二十名が参加しました。

「体験工房小樽イルポんテ」では、吹きガラスによるロックグラスの製作を体験。好みの色のガラスに技法を用いて、ひび模様やあわ模様を表現しました。息を吹きガラス種を膨らませる加減や飲み口を作る難しい工程は、職人さんにマンツーマンでのサポートを頂き、世界に一つだけの手作りグラスを楽しく作ることが出来ました。





管理部企画課・管理課 大場職員 (手前)



米穀農産事業部米穀農産課 佐々木職員 (左)

J A 若手職員田植え研修



秩父別支所米穀農産課・花卉蔬菜課 手塚職員 (左)

五月十八日から五月二十七日までの間、JA北いぶきでは組合員さんにご協力頂き、若手職員を対象とした農家実習を行いました。若手職員に農家の実情を肌で感じ、より理解してもらおう目的で、組合員さんの圃場にて田植えを中心とした農作業の経験をさせて頂いております。

受け入れにご協力頂いた組合員の皆様に改めて感謝申し上げます。参加職員一同、JA職員として皆様のご期待に応えられるよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。



7回を完投した谷越職員



先制のホームランを打った齋藤職員

第六十三回 空知管内JA野球大会



六月二十七日、栗山町民球場と長沼町運動広場野球場の二会場に分かれ第六十三回空知管内JA野球大会が開催され、管内JA並びに連合会から全一〇チームが参加しました。

シードとなったJA北いぶき野球部は、一回戦を勝ち上がったJAピンネと対戦。二回表に四番・齋藤選手のソロホームランで見事に先制し、投げては、ピッチャー谷越選手が七回を完投する力投を見せました。

結果は、JAピンネに打線が及ばず、残念ながら敗れてしまいました。ですが、応援に来て頂いた役員から選手たちへいっぱい拍手と労いの言葉が贈られていました。

アンサンブルグループ 奏楽



音楽演奏会

プロフィール

「いつでも、どこでも、音楽を！」をモットーに、北海道の隅々や日本各地に生演奏を届けているアンサンブルグループ。室内楽、オーケストラなど様々なアンサンブルの演奏を通じて、人々を元気にする活動を行っている。YouTubeで無料配信をするなど、オンラインを活用した演奏活動も積極的に行っている。

8/27 奏楽 演奏者

オーボエ：岩崎弘昌
ヴァイオリン：長谷川加奈
ヴィオラ：今井佑佳
チェロ：有田文
ソプラノ：亀谷泰子
バリトン：今野博之
ピアノ：前田朋子

日 2022年8月27日(土)
時 【開場】13:00 【開演】13:30

会場 沼田町民会館
住所：沼田町南1条1丁目9-11

演奏 アンサンブルグループ^{そら}奏楽
沼田町立沼田中学校 吹奏楽部
秩父別町立秩父別中学校 吹奏楽部

《演奏予定プログラム》

♪主よ人の望みの喜びよ・ジュピター
♪栄光の架橋 等の歌謡曲、映画音楽
♪童謡、お子さま向けの歌 他
様々なジャンルから、おなじみの曲を集めた幅広い年代の方が楽しめるプログラムを予定しております！

 女性限定♪

参加申し込み・お問い合わせはお住まいの各支部女性部事務局までお電話下さい！



妹背牛支部：妹背牛支所営農推進課（TEL：32-2451）

秩父別支部：秩父別支所営農推進課（TEL：33-2412）

沼田支部：沼田支所営農推進課（TEL：35-2224）

※妹背牛・秩父別地区は送迎バスが運行いたします。詳しくはお問い合わせください。

■主催 JA北いぶき女性部

■後援 北いぶき農業協同組合

入場料無料
当日も受付可

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS

日本農業新聞 電子版

令和4年8月から
220円の値下げ

月額料金 2,403円 (税込み)

※7月までは2,623円(税込み)です。

機能と使い方



Q&A
(よくある質問)



電子版でできること



いつでも、どこでも

スマホやタブレットを使い、お好きな時間と場所で、情報収集ができます。



過去記事検索が30日分

見逃した記事もさかのぼって読むことができます。検索で欲しい情報を効率的に集められます。



クリップ機能で 記事を保存

気になる記事を最大200件まで保存できます。「まとめ読み」にも役立ちます。

紙面ビューアーの特長



読みやすさ、そのまま

いつもの紙面と同じレイアウトです。7日分の記事が読めます。



文字を大きく

紙面を拡大・縮小すれば、お好みの大きさに文字サイズを調整できます。



紙面丸ごと印刷できる

すべての面が印刷可能。大事な記事の保存やスクラップに役立ちます。

電子版は
朝5時配信!



主なコンテンツ

1 記事カテゴリー

「営農技術」「ビジネス」「地方版」など、カテゴリーを選んで記事が読めます。

2 アクセスランキング

電子版で多く読まれた記事トップ5を紹介。農業界で注目の話題や関心事、トレンドがつかめます。

3 写真・動画

新しい技術や農業資材を、映像と音声で詳しく紹介します。

4 netアグリ市況

青果(野菜・果実)、花、畜産などの全国主要市場での取引結果を即日公開します。



- 初回のみ、購読開始月は月末までの料金がかかりません(無料期間中の解約はできません)。
- 電子版のみの料金です。紙版を併せて購読する場合は紙版の購読料が別途、発生します。
- 電子版は個人向けサービスです。法人プランはございません。なお、法人代表者が個人でお申し込みいただくことは可能です。

電子版のお問い合わせやお申し込みは、お近くのJAまでご相談ください。

公式ウェブサイトからのお申し込み方法

Step 1 公式ウェブサイトアクセスし、メールアドレスを登録
<https://www.agrinews.co.jp/page/subscribe2>

Step 2 届いたメールのURLをクリック

Step 3 支払い方法の選択
 (JA口座振替/クレジットカード払い)

Step 4 読者情報の入力
 入力フォームにしたがって、お名前・住所等の情報を入力してください。

Finish! お申し込み完了

お申し込み画面

支払い方法の選択

JA口座振替

一部のJAでは当サイトからのお申し込みに対応していません。日本農業新聞までお問い合わせください。

※当該JA管内にお住まいで、すでに口座をお持ちの方以外は、お申し込みをお断りする場合があります。
 ※口座確認などのため、購読開始までに1週間以上かかる場合があります。

クレジットカード払い

ご注意ください

JA口座振替の方
 口座のあるJA名、支所・支店名をご選択ください。

クレジットカード払いの方
JAから購読の紹介を受けた場合は、入力項目「購読のきっかけ」で「JAの紹介で」を選び、JA名、支所・支店名をご選択ください。
 ※JA職員の方は所属するJAをご選択ください。

紙版から電子版に切り替える方
 「紙版」の中止手続きが必要です。紙版を契約したJAまたは新聞店へ、配達中止をお申し出ください。

便利!

ショートカットアイコンの作り方

iPhone+Safari | Android+Google Chrome

スマホのホーム画面にアイコンを作れば、素早く電子版にアクセスできます。

Step 1 ブラウザーで「日本農業新聞公式ウェブサイト」を開き、メニューアイコンをタップ

Step 2 メニュー内の「ホーム画面に追加」をタップ

Step 3 「追加」をタップ

Finish! ホーム画面にアイコンが追加

Safariのメニューアイコン | Google Chromeのメニューアイコン

※アイコンの作り方は、OSやブラウザの仕様によって変更になる可能性があります。

PHOTO
だより



6月1日から3日まで、
各支所農機・車輛工場にて
刈払機展示会を開催しました



7月13日、
女性部妹背牛支部より
役員2名が夏の交通安全運動
「旗の波街頭啓発」に
参加しました



7月9日、
青年部妹背牛支部は
妹背牛支所駐車場にて
焼肉祭りに代わる豊年祈願出店祭りを
開催しました



JA若手職員田植え研修
共済事業部共済課
南職員



JA若手職員田植え研修
妹背牛支所貯金共済課
森職員



JA若手職員田植え研修
沼田支所車輛課
上野職員

※広報誌に掲載された写真及び記事については、JA北いぎきのホームページにて使用させていただく場合がありますので、ご了承願います。

発行日 令和4年7月25日 発行元 北いぎき農業協同組合 北海道雨竜郡秩父別町1298番地の8 編集 管理本部 TEL 0164-33-2011 FAX 0164-33-3311 ホームページアドレス http://www.ja-kitaibuki.or.jp/